

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子：やさしいっばい かしこい子：かいいばい たくましい子：やる気いっばい ～



# 和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和5年9月28日(木)

10月号 発行者 池田 誠

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ：<https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール：[wado-e@saitama-city.ed.jp](mailto:wado-e@saitama-city.ed.jp)

児童数 160名

## 一生懸命に取り組む姿を応援する

校長 池田 誠

残暑がようやく落ち着きを見せ始め、心地よい風を感じられる季節になりました。学校周辺を歩いてみますと、ススキやパンパスグラス（シロガネヨシ）に光が当たりシルバー色に輝きながら、秋風に揺れて、季節を一層満喫させてくれます。

「女子サッカーワールドカップ」や「男子バスケットボールワールドカップ」、そして現在開催中の「男子ラグビーワールドカップ」などの国際的なスポーツ大会や、中・高校生の総合体育大会などが夏から秋にかけて、数多く開催されました。メディアを通してご覧になった方も多くいらっしゃると思います。スポーツ観戦が好きな私も、連日のように選手を応援したり、歓喜したりした一人です。選手の一生懸命に競技する姿、感情を表出させる姿、チーム一丸となる姿に幾度となく心を動かされました。選手たちは、会場での応援や、SNSでの応援メッセージに対して、「みなさんの応援が力になりました。」「応援の声でもてる力を出し切り、悔いなくできました。」などと話をしていました。

学校では、児童が「分きたい」「できるようになりたい」という思いで、日々学習や運動に一生懸命に取り組んでいます。感情を表出することはなかなかありませんが、真剣に考えている姿や仲間と協力して最後まで活動する姿は、スポーツ選手に通じるものがあると思っています。会場で応援する人と同じように、私たちは児童の一生懸命さに対して、目の前で、かつ直接声をかけることができます。単に「頑張れ」という応援ではなく、具体的に称賛したり、児童の考えを大切に助言したりする応援です。児童の学習や運動の支えになるように努め、「もてる力」を引き出し、「悔いなく」終わることができるようにしていきたいと、選手たちの姿や言葉から改めて思ったところです。

9月19日(火)～21日(木)に、5年生がたかつえ自然の教室に行ってきました。城南中学校への進学を見据え、新和小学校と連携し、同宿、そして一緒に活動する新しい取り組みを行いました。同じ会場での食事や野外炊飯、合同でのフィールドワーク、キャンプファイヤーなどを通して、お互いの交流を深め合いました。当初は不安な様子もありましたが、友達が増えたような一体感が高まり、名前を覚え合ったり、互いのよさを考えたりすることができました。今後も交流を図り、よりよい中学校進学につなげていきたいと考えています。



【たかつえ自然の教室 会津高原ロッジ】

### ☆☆ 和土小の150年、そして未来へ ☆☆

#### 【教材園】

○昭和56年3月16日 小鳥小屋 設置

【昭和55年度卒業記念品として寄贈】 ※現在撤去

○昭和58年3月19日 教材園 完成

〈観察地(昭和59年1月完成学校だより6月号で紹介)の周り〉

○昭和60年5月頃 芝生広場・砂場・足洗い場 完成

〈小鳥小屋脇 現在の家庭科室・保健室・放送室前〉 ※一部残存

【昭和58・59年度PTAバザー収益金にて寄贈】

☆小鳥の歌声が身近に聞こえるようにと小鳥小屋を、学校生活のオアシスになるようにと芝生広場・砂場・足洗い場を整備していただきました。



【昭和58年3月・昭和60年7月 PTAだより わこう より】

【昭和60年夏もしくは昭和61年夏 撮影】